

クラス番号	608	担当教員名	中村 強士
テーマ	現代社会における保育・子育て支援を考える		
著書・論文	【著書】 『戦後保育政策のあゆみと保育のゆくえ』（単著）新読書社、2009年 『保育ソーシャルワークの世界—理論と実践—』（共著）晃洋書房、2014年 『貧困と保育』（共著）かもがわ出版、2016年 『子どもの貧困対策と教育支援』（共著）、明石書店、2017年		
研究課題等	【研究課題】 1. 保育・子育て支援政策のあり方に関する研究 2. 保育者・学童保育指導員の専門性（特に調査と実践記録）に関する研究 3. 「乳幼児期の子どもの貧困」と保育ソーシャルワークに関する研究		

ゼミナール概要

キーワード：保育問題、子育て支援、子どもの貧困、子どもの権利

問題意識：

共働き家庭やひとり親家庭が増加する現代社会において、保育所は必要不可欠です。ところが都市部では待機児童が増加し、保育水準の低い認可外保育所もその受け皿となっています。待機児童をなくすためにはどうしたらよいか。保育所や保育士の不足はなぜ生じているのか。保育所新設にあたってなぜ地域住民が反対するのか。

その一方で、保育所は地域の子育て支援拠点としての役割を担っています。保育所はどのように地域子育てを支援しているのか。子育てを支援するということはどういうことなのか。子育て支援は保育所だけでなく保健所や児童館、子育て広場など広範囲にわたって取り組まれています。これらの違いや課題は何でしょうか。

「子どもの貧困」が問題視されている他方で、子どもの権利が児童福祉法に規定されました。子どもの最善の利益を保障するために、子どもとその家族にどんな保育や子育て支援が必要なのでしょうか。

目的：

- ①保育・子育て支援に関する専門性を身につけること
- ②仲間との共同作業を通じて自分を知り、仲間とともに成長すること
- ③社会人として必要な、＜問題認識→課題発見→解決方法の考察＞のプロセスを経験すること

計画（内容・方法等）：

- 3年次前期：①興味・関心にもとづいたグループごとで事前学習（研究活動）を進めます。
②グループが順番に研究発表を行います。
③半田市子育て総合支援センターでボランティアをし、子育てとその支援の現実を学びます。
④「あいち保育と子育てのつどい」（5月31日・東海キャンパス予定）に参加します。

夏休み：未定

後期：SW実習後、卒論計画書を作成し添削指導を受けます。

春休み：卒論を書き始めます（先行研究の分析・考察）。

- 4年次前期：卒論前半（先行研究部分）を終了し、インタビュー調査を実施します。
夏休み：卒業論文を完成させます（就活・実習・受験勉強・バイトなどの両立！）。
後期：ゼミ内で卒論発表会を行い、提出後に専修ごとの卒論発表会に備えます。
※社会福祉士国家試験に合格したいゼミ生を対象に「自主ゼミ」をひらきます。

※ゼミ生の希望のもと、施設見学・フィールドワークや、コンパ・バーベキュー・パーティーを実施します。

担当教員からのメッセージ



私は、保育・子育て支援、学童保育、放課後等デイサービス、児童館、子ども食堂などを中心としたフィールドにかかわり、研究・実践活動を続けています。

ゼミではゼミ生一人ひとりの自主性・主体性を求めています。〇〇を学びたい、〇〇へ見学に行きたい、〇〇をみんなで食べたいなど、積極的に提案する学生を期待しています。

本ゼミを希望する学生は「エントリーシート」に、①本ゼミを希望する理由、②目指す将来像、③趣味・特技、④自己アピール、の以上4点を記入してください。